

2026年度 第49回全日本U-12ホッケー交流大会  
「相手をたたえるセレモニー」実施要項

(公社)日本ホッケー協会  
事業本部 ホッケーファミリー未来部  
U12育成グループ

## 1. 目的

- (1) 試合を通して互いのプレイに敬意を払い、交流を深める。
- (2) 競技役員や審判、相手チームの指導者や選手から、試合中にプレイについて評価を受けることで、技術的・精神的なレベルアップにつなげる。

## 2. 実施方法

### (1) 実施する試合

予選リーグにおいて、各チーム1試合以上実施

### (2) セレモニーの流れ

- ① 試合終了後、速やかにチームベンチを退席し、テクニカルテーブル後方のセレモニー実施場所に移動する。
- ② 講師や試合を担当した競技役員（審判員）等の進行により「相手をたたえるセレモニー」を行う。
  - ※給水は適宜行う。
  - ※進行者は、互いの健闘を称え合い、次の試合の励みにつながるような内容となるよう進行に努める。
- ③ セレモニー終了後、速やかに解散する。

## 3. その他

- ・ 監督は、試合前まで「相手をたたえるセレモニー」の目的や実施方法について、選手はもちろん、保護者にも説明いただき、より意義深い振り返りの場となるように周知を図ってください。特に、選手には、具体的な観点を与えて相手のチームの良さを見ることができるよう事前に説明をお願いします。
- ・ セレモニーが速やかに行えるように、試合終了後、監督は素早くマッチシートにサインして移動をお願いします。
- ・ セレモニーの時間は2～3分程度とし、短い時間で効率的に進めます。
- ・ 相手をたたえるセレモニーは、天候、大会の進行状況などにより実施しない場合もあります。